

補装具評価検討委員会WG
車椅子・電動車椅子調査資料

支給基準に関する基礎調査

車椅子・電動車椅子について

研究分担者 横井 剛（横浜市総合リハビリテーションセンター）

車椅子・電動車椅子の価格について

(例)

購入基準	普通型車椅子	100,000円
	+	
修理基準	特殊形状クッション	25,750円
	張り調整式バックサポート	15,080円
	屋外用キャスター	7500円×2
	キャリパーブレーキ	8000円×2

**座位保持装置と異なり、車椅子・電動車椅子の価格については
本体の購入基準と付属機能の修理基準との合計であり
本体に含まれる内容や採寸等の作業などにかかる費用が明確ではない**

①車椅子の本体価格に含まれる内容の調査

調査内容：車椅子（モジュラー型）の発注書より
本体価格に含まれる項目を抽出

結果：本体価格に含まれる項目としては
フレーム、シート、バックサポート、アームサポート、
レッグサポート、フットサポート、大車輪、キャスター
ハンドリム、ブレーキ
上記項目で機能を選択する場合
（例：バックサポートを張り調整式にする場合など）
本体価格に加算金額を設定
その他の項目については
オプション項目として価格設定

結果：車椅子の価格構成

(例)

普通型車椅子

本体価格 a円	本体の加算要素価格合計 b円	オプション価格合計 c円
本体価格に含まれる内容	($b = d + e + f + g$)	($c = h + i + j$)
フレーム		
シート		
バックサポート	背張り調整式 + d円	座クッション + d円
アームサポート	跳ね上げ式 + e円	テーブル + e円
レッグサポート	開閉脱着式 + f円	シートベルト + f円
フットサポート		
大車輪		
キャスター		
ハンドリム		
ブレーキ	介助ブレーキ + g円	

合計価格 = $a + b + c$ 円

修理基準の整理も含め、現状の価格構成に合わせた形での価格体系、支給基準の見直しが必要と考えられる。

②基本価格に関する基本工法（案）

車椅子本体の価格と作業に関する技術料を明確に区分するために
基本工法ならびに基本価格の設定が必要と考える

工程	作業の内容
1) 身体状況の観察と評価	身体状況の観察、座位姿勢の評価、使用目的の確認
2) 採寸	製作に必要な採寸、車椅子の装備等について選択並びに記録
3) 製作、加工、組み立て	フレームや付属品の製作、加工、組立て
4) 仮合わせ	身体への適合、フレームや付属品の検査及び修正
5) 仕上げ	各部品の取付け及び仕上げ等
6) 適合検査	最終的な身体への適合及び車椅子の各機能の検査

今回の結果より価格体系の変更案について

